

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年10月20日
タイトル	ぜんぶ手で刈ったよ！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年10月14日（水）福山市立駅家西小学校5年生64名が、駅家西学区内の町内連合会会長をはじめ地域の方協力で水土里ネット福山の組合員の岡田国彦さんのほ場約500㎡で稲刈りを体験しました。

平成27年5月15日に籾蒔きをし、5年生全員で育苗して6月15日に田植えをし、毎日の登下校の時や5年生全員で稲の成育を見守っていて、稲刈りを楽しみにしていたそうです。

学校では、稲刈り体験の前に鳥羽先生より子ども達に「地域の方々のご協力によって貴重な農業体験ができることや地域の方に感謝の気持ちを持って接すること、挨拶をしっかりとすること、話を聞く時は目をそらさずに顔をあげて聞くこと」をお話されました。そして「田植えと違って稲刈りは鎌を使うので、絶対にふざけたりしないで使うように」と注意されました。

みんな、真剣な表情で先生の話聞いています。

水土里ネット福山から取材に来ていることを紹介していただく「よろしくお願いします。」と大きな声で挨拶をしてくれました。

元気一杯の子ども達です！



小学校のすぐ近くにあるほ場に、みんなで歩いて向かいました。ほ場に着くと、地域の方が大勢集まっておられました。みんなで大きな声で「お願いします。」と挨拶をしました。

連合町内会長から「籾蒔きからちょうど150日で稲刈りができるようになりました。全て鎌で刈ってはぜ掛けにするのはとても貴重なことなので、しっかりと体験してください。」と挨拶がありました。



稲刈りが初めての子ども達、稲の持ち方、鎌の使い方を教えていただきました。

子ども達は、2組に分かれ、白い帽子的2組から鎌を持って田んぼへ入り稲刈りをします。赤い帽子的1組は稲の束にくくり方を地域の方に教わり束にしていきます。殆どの子が初めての稲刈りで、最初は慣れない手つきでしたが、すぐにザッザッと小気味よく刈れるようになりました。

一方、稲を束にする方は一生懸命くっついていましたが、なかなか難しく時間もかかるため地域の方も大勢手伝ってくださいました。半分まで稲を刈ったら、交代して赤い帽子の1組が稲刈り、白い帽子の2組が稲を束にしています。



秋晴れで気温が上がり、子ども達は額に汗を浮かべて農作業をしました。稲を刈ったり、束ねたり、束ねた稲をはざ掛けにしたりと、大忙しです。
「腰が痛い。鎌を持つ手が痛い。」と言って、最後の方になると、とても疲れた様子でしたが、稲は全て子ども達の手で刈りました。

今年からほ場が変わり、昨年までとは勝手が違っていて予定どおりにいきません。ほ場が少し広く収穫量が多いようで、はざ掛けの途中で帰校する時間になってしまい、一旦作業を終わらせ子ども達を帰らせることになりました。

子ども達を代表して「籾蒔きや田植えでお世話になったこと、毎日登下校で稲の成長を見守っていて、稲のお世話をしてくださっている岡田さんに感謝していること今日の稲刈りでお米を作る大変さを実感したこと」を伝えました。そして、みんなで大きな声で「ありがとうございました。」挨拶をしました。

連合町内会長から「みんなで頑張って作ったお米を何かの形で食べる機会を設ける予定ですので、楽しみにしてください。」話されました。



大きな声でしっかりとお礼が言えたよ！



みんなで声を合わせてお礼を言ったよ！

子ども達が帰校した後、レポーターも参加させていただき地域の方と一緒に落穂拾いとはざ掛けをしました。

作業していると、5年生が下校でほ場を通りかかり、まだ地域の方が作業しているのを見て「ありがとうございました。」ときちんと挨拶していました。

1時間ほどかけて、はざ掛けを終えてみると昨年より倍近い収穫量でした。そういえば、田植えの時、子ども達が一株を多く植えていたから、豊作になったのかもかもしれません。



いや～ぎょうさんあるでえどうすりゃあ
腰が痛とうてかなわんの～
おうじょうするの～どうもならんでえ
訳 うわあ、沢山あるから、どうしよう
腰がいたくてつらいな
困ったな、どうしたものか

夕焼けに照らされて、影法師が長くなっています。
はざ掛けに使う木が足りなくなるくらい、沢山収穫で
きました。
岡田さんは、他のほ場はコンバインで収穫するため
この農業体験のために知り合いから、はざ掛けに
使う木を調達されたそうです。



稲刈りが終わると、地域の方はくたくたになって疲れておられました。でも「来年は全部の面積をするのは無理なので半分ほど手で刈って、後はコンバインで刈る様子も見せたらどうか。」など、いろんな意見がでて疲れていても来年も農業体験をする気満々なんだなと嬉しくなりました。

今回はレポーターも農業体験をさせていただきました。一緒に農作業をして、地域の方々の子供達に対する熱い思いを感じることができました。

子供達は、地域の方々のご協力により、籾蒔きから育苗、田植えそして稲刈りと昔ながらの手作業による農業体験をしました。この貴重な体験を通じて、農業や環境など様々な分野に関心を広げていってほしいです。

水土里ネット福山では、引き続き子供達の農業体験の様子を取材したいと思います。